

摂食・嚥下治療計画表

患者 _____ 殿

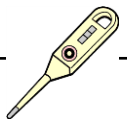
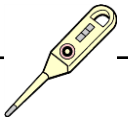


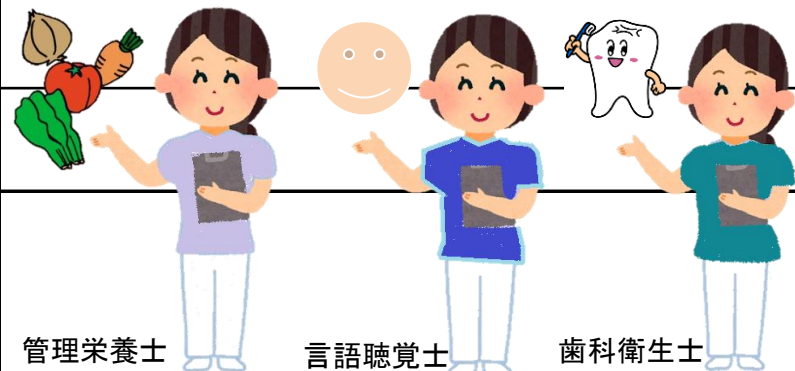

担当医師

担当看護師

担当言語聴覚士

担当管理栄養士

担当歯科衛生士

段階	段階 1		段階 2		段階 3	
日付	/ ~ /		~ /		/ ~ /	
到達目標	<p>＜最終目標＞ 咀嚼や飲み込みの能力に応じた、安全に適切な食事</p>		<ul style="list-style-type: none"> ゼリー全量もしくは嚥下食1食を5割以上食べることができる。 むせや発熱など誤嚥を疑う症状がない。 		<ul style="list-style-type: none"> 嚥下食3食を5割以上食べることができる。 むせや発熱など誤嚥を疑う症状がない。 	
検温	治療に沿って血圧・体温・脈拍・呼吸を測定します					
食事	 <p>状態に合わせて高カロリー点滴をします 経腸栄養をします</p>		<p>～1日1食～</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼリー食（噛まなくてよい硬さ） 嚥下食など（舌や歯ぐきでつぶせる硬さ） 		<p>～1日3食～</p> <p>以下のような嚥下食が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 舌でつぶせる硬さ（目安は絹ごし豆腐） 歯ぐきでつぶせる硬さ（目安はもめん豆腐） 水分や汁物はとろみ付 <p>食事の食べ具合が悪い時は点滴をする場合があります</p> 	
経口評価	咀嚼や、嚥下（ごっくん）を評価します		口に送り込みや嚥下があり、全量食べられるかを観察します		咀嚼や嚥下があり、嚥下食が5割以上食べられるかを観察します	
姿勢	安静度に準じて行います					
言語聴覚士 管理栄養士 歯科衛生士	管理栄養士が介入します 言語聴覚士が介入します 状態に応じて歯科衛生士が介入します		 <p>管理栄養士 言語聴覚士 歯科衛生士</p>			
説明	医師または看護師が、摂食機能療法について説明します				<p>能力に応じた食事が安全にできれば終了です。</p> 	